

II 低炭素社会の形成

1 小平市地域エネルギービジョンの概要

エネルギー需要のあり方や地球温暖化防止に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことを目的に、平成 21（2009）年 2 月に、令和 2（2020）年度までの 12 年間を計画期間とする、小平市地域エネルギービジョンを策定しました。この計画は、小平市第二次環境基本計画における地球温暖化対策のための部門別計画として位置づけており、市のめざす環境像の実現に向けて、エネルギー政策上の基本理念を下記のとおり設定していました。

平成 28（2016）年 3 月には、策定後の社会状況や環境の変化を踏まえ、取組の再構築を図るなどの中間見直しを行い、市における地球温暖化対策を総合的に実施してきました。

なお、令和 3（2021）年度からは、小平市地域エネルギービジョンを包含させた小平市第三次環境基本計画がスタートしています。

～小平市のエネルギー政策の基本理念～

緑の豊かさを基調としながら、
次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

小平市は、首都圏の近郊にありながら、現在も多くの自然空間を有しており、緑の保全や市民に親しまれる小平グリーンロードの整備等に積極的に取り組んできました。

小平グリーンロードに代表されるような緑は、二酸化炭素を吸収する役目だけではなく、わたしたちに潤いを与え、さらに空調負荷を軽減する冷却効果もあります。今後もこの豊かな緑を活かし、次世代の子どもたちに緑豊かなまち小平を引き継ぐことができる、低炭素の社会づくりを推進していきます。

2 施策の体系（中間見直し後）

市がめざす環境像、市のエネルギー政策の基本理念の実現に向けて、3 つの基本方針のもと、取組を進めてきました。

基本方針 1：限りある資源を大切に使う

基本方針 2：緑化と調和したエネルギー負荷の少ない都市づくり

基本方針 3：環境マインド・アクションの高い人づくり（人と人をつなぐ）

【中間見直し後の施策の体系】

めざす環境像

循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら

基本理念

緑の豊かさを基調としながら、次世代の子どもたちへつなぐ低炭素社会づくり

基本方針

- ①限りある資源を大切に使う
- ②緑化と調和したエネルギー負荷の少ない都市づくり
- ③環境マインド・アクションの高い人づくり (人と人とをつなぐ)

【重点プロジェクト】

- ①市民版環境配慮指針の普及拡大（環境家計簿の推進）
- ②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出
- ③公立学校給食や市民への地産地消の推進
- ④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化
- ⑤公共施設への太陽光発電システムの導入
- ⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成
- ⑦市民植樹事業の普及拡大
- ⑧ノーカーデーの実施
- ⑨低公害車・低燃費車への買い替え
- ⑩環境学習（講座、講演会等）の充実

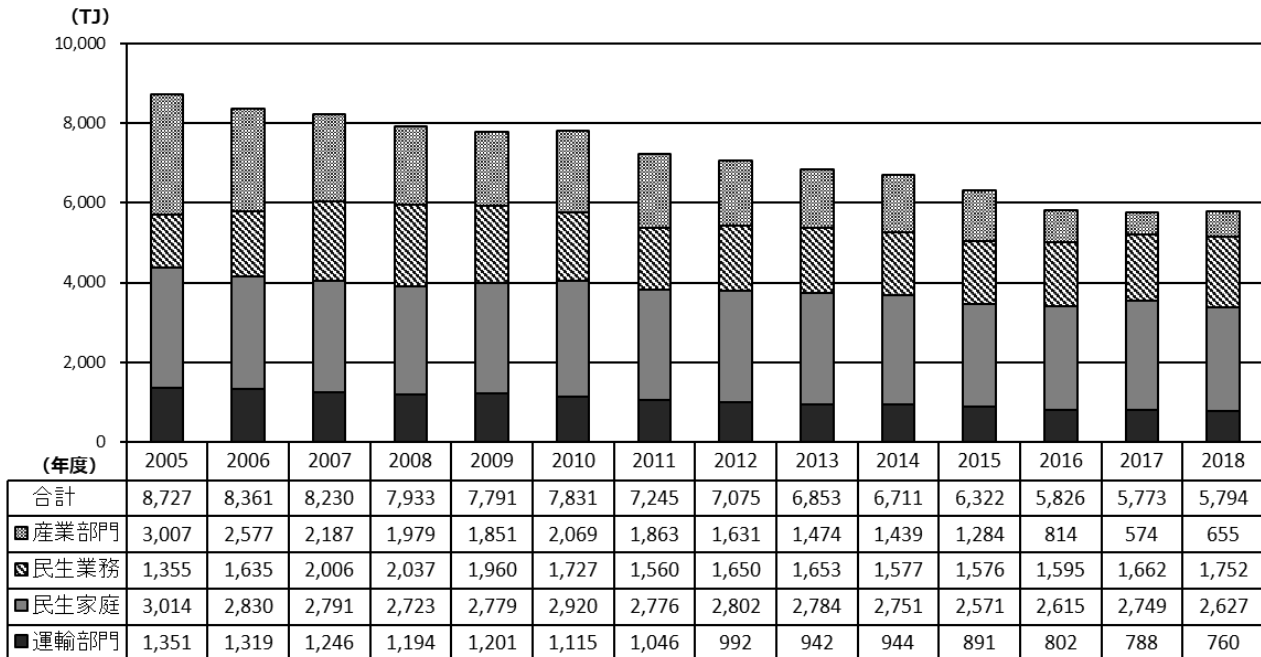
【その他の取組】

1. 環境共生住宅の普及
2. 省エネ診断・省エネ研修会の普及
3. 室内の温度設定の徹底
4. 省エネ診断及びESCO事業の導入
5. フィフティ・フィフティ制度の導入
6. 市民出資型による太陽光発電システム設置の検討
7. 市民参加による森林の整備
8. 保存樹林などの公有地化の検討
9. 公共施設駐車場の有料化による自動車利用抑制の検討
10. エコドライブの普及啓発
11. エコポイント制度の検討
12. 家電製品などの省エネルギー機器の普及拡大
13. グリーン電力証書制度の活用
14. ホームページや省エネカレンダー等による情報の発信
15. 環境配慮事業者連絡会の充実
16. 大学との連携による普及啓発

3 小平市地域エネルギービジョンの推進

(1) 小平市のエネルギー消費量

平成 30 (2018) 年度のエネルギー消費量は、5,794 テラジュールで、基準年度である平成 17 (2005) 年度の 8,727 テラジュールに比べると約 33.6%の減少となっています。



(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

小平市のエネルギー消費量の推移

(2) 環境配慮事業者連絡会（平成 19 (2007) 年度から実施）

市内の事業者が環境に配慮した取組に関する相互の意見を交換し、省エネ対策による経費削減や温室効果ガスの削減を目指し、連絡会を開催しています。

令和 2 (2020) 年度は、連絡会を開催していませんが、東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）からのお知らせや、市のイベントの情報提供を行いました。

【連絡会参加事業者 16 事業者（令和 3 (2021) 年 3 月 31 日現在）】

アサ電子工業株式会社	株式会社大東建興
株式会社旭エンジニアリング	東京ガス多摩ライフバリュー株式会社
株式会社小川工営	東京むさし農業協同組合小平支店
光洋電子工業株式会社	株式会社八洋フーズ
小平市役所	株式会社日立国際電気
小平商工会	学校法人武蔵野美術大学
学校法人白梅学園	有楽製菓株式会社
西武バス株式会社小平営業所	ルネサスエレクトロニクス株式会社武蔵事業所

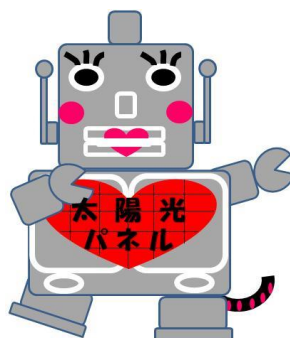
(3) 公共施設への太陽光発電システムの設置

令和 2 (2020) 年度末では累計 39 施設、発電出力 477.8 kW の設備が設置され、発電電力量は、545,480 kWh となり、約 152 世帯分の年間電力消費量にあたります。二酸化炭素排出量に換算すると約 204,010 kg 削減したことになります。

※一世帯あたりの平均電力消費量約 3,600 kWh/年（電気事業連合会資料）

【太陽光発電システム設置済施設（令和3（2021）年3月31日現在）】

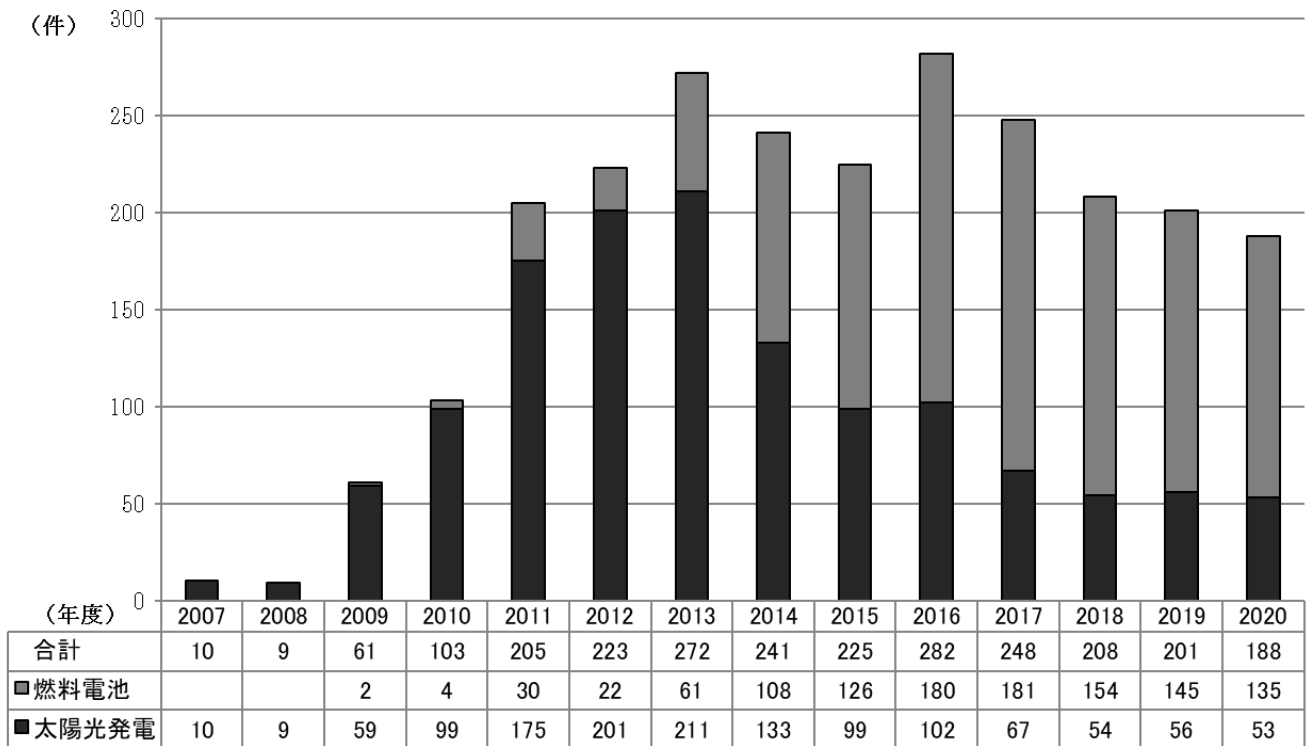
設置年度	設置施設名	発電出力	設置年度	設置施設名	発電出力
2001	花小金井南地域センター・児童館	4 kW	2013	小平第四小学校	20 kW
2002	大沼保育園	4 kW		小平元気村おがわ東	16 kW
2006	小川町二丁目地域センター・児童館	4 kW	2014	東部公園プール管理棟	8 kW
	東部市民センター	6 kW		なかまちテラス	5 kW
2009	市庁舎	10 kW	2015	小平第七小学校	20 kW
	花小金井小学校	10 kW		小川西保育園	10 kW
	子どもキャンプ場トイレ	2 kW		小川公民館	12 kW
小平第一小学校	20 kW	上宿図書館		11 kW	
2010	小平第九小学校	20 kW	2016	大沼地域センター	11 kW
	小平第十二小学校	20 kW		市民総合体育館	15 kW
	小平第十三小学校	20 kW		小平第二小学校	20 kW
	学園東小学校	20 kW		十小学童クラブ第三	10 kW
	小平第一中学校	20 kW	2017	鈴木地域センター	11 kW
	小平第二中学校	20 kW		天神地域センター	10 kW
	花小金井南中学校	5 kW		小平第十小学校	4 kW
	健康センター	10 kW		上宿小学童クラブ第二	4 kW
2012	小川町一丁目地域センター・児童館	30 kW	2018	学園東町地域センター	5 kW
	中央図書館	20 kW		リサイクルセンター	25 kW
	小平市消防団第三分団詰所	1.8 kW	2020	八小学童クラブ第二・第三	4 kW
	小平第五小学校	10 kW			



小平市太陽光発電イメージキャラクター ソラミ
 色々なイベントに参加して太陽光発電のPRをしているよ。

(4) 新エネルギー機器設置モニター助成制度（平成 19（2007）年度から実施）

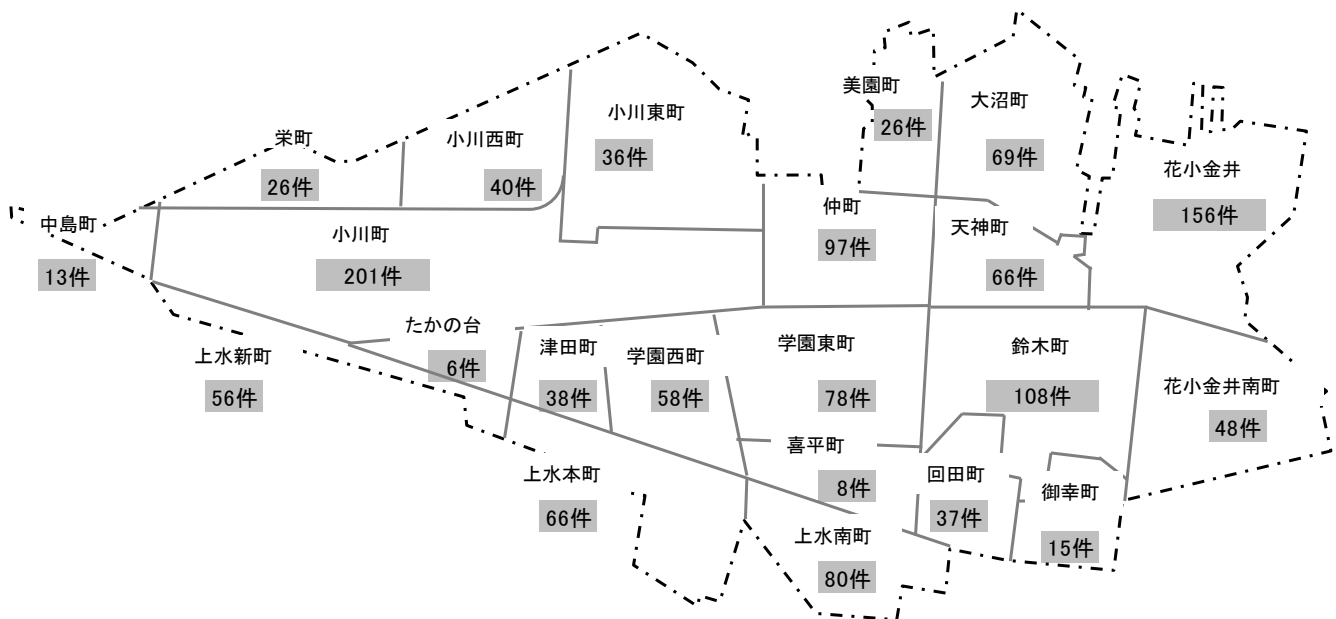
太陽光発電システム、燃料電池を設置する市民・事業者などに設置費用の一部を助成しています。



新エネルギー機器設置モニター助成件数の推移

【太陽光発電システム助成実績】

総件数	1,328 件
総発電出力合計	5,032.7 kW（一世帯平均 3.79 kW）
設置費用平均	1,874,693 円（税込）



太陽光発電システム町別助成件数

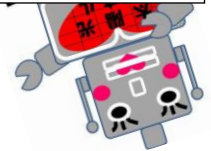
4 第二次エコダイラ・オフィス計画の推進

(1) 第二次エコダイラ・オフィス計画

平成9（1997）年に京都議定書が採択され、温室効果ガスの総排出量を6%削減する目標が掲げられました。この目標を達成するための国の取組に合わせ、市においても、平成14（2002）年度に、市職員が自ら実施する事務事業に伴う環境への負荷を低減するための環境率先行動計画と地球温暖化防止計画の二つの性格を併せ持つエコダイラ・オフィス計画を策定し、取組を進めてきました。

この進捗状況及びその後策定された小平市ごみ処理基本計画（改訂）や小平市地域エネルギービジョンなどを踏まえ、市内の事業者として、さらに自ら率先して、廃棄物の減量、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減や環境負荷の低減に積極的に取り組むために、平成22（2010）年3月に令和2（2020）年度までの11年間を計画期間とする第二次エコダイラ・オフィス計画を策定しました。

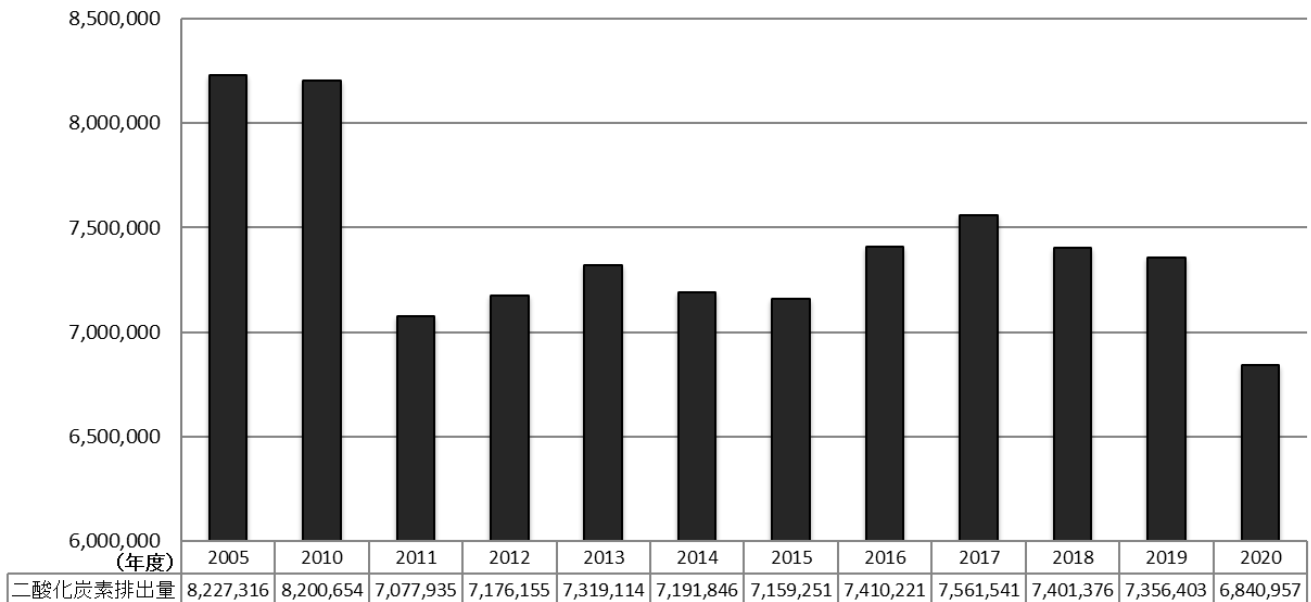
なお、令和3（2021）年度からは、小平市第三次環境基本計画に包含する形でエコダイラ・オフィス計画がスタートしています。



(2) 市の公共施設の二酸化炭素排出量

令和2（2020）年度の二酸化炭素排出量は、6,840,957 kg-CO₂で、基準年度である平成17（2005）年度の8,227,316 kg-CO₂に比べると16.9%の減少となっています。

(kg-CO₂)



小平市の公共施設の二酸化炭素排出量の推移

(3) 気候変動適応策普及啓発講演会「気象キャスターに学ぶ地球温暖化 ～気候変動への適応とは～」

二酸化炭素排出量の削減に向け、厳しい対策をとったとしても、約1℃の気温上昇は避けられないと言われています。そのため、これからは気温上昇によって発生する影響や被害を事前に予測し、適応していくことが重要となります。

気候変動適応策は環境や防災、健康など複数の部署・分野にまたがる課題であり、部署の枠を超えた体制の構築が必要となることから、市民だけでなく市職員も対象に、適応策という言葉を身近なものとする普及啓発のため、テレビで人気の気象キャスター植木奈緒子さんを招いて講演会を開催し、市民 34 名 (Zoom 7 名)、市職員 13 名が参加しました。

【実施日】

令和 3 (2021) 年 1 月 27 日 (水) 市役所大会議室及び Web (Zoom)



講演会の様子



植木奈緒子さん

(4) 打ち水日和 in こだいら

東京都では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の暑さ対策、また、気候変動への適応策として、涼を得るための江戸の知恵である「打ち水」が、東京のおもてなしとして定着することを目指し、都内各所で打ち水を繰り広げるイベント「打ち水日和」を実施しています。

小平市では、7 月 22 日 (水) ~9 月 30 日 (水) を実施期間として市内各所に呼びかけ、暑さ対策の気運醸成を図るために、親子環境教室「昔の暮らしから学ぼう！省エネ&打ち水」の後半の部で打ち水体験を行いました。当日は、天候が晴れて、子どもたちは夢中で水を撒く中、市長、議長（ともに当時）にも参加いただき、打ち水体験を盛り立てていただきました。

市内各所 (JA 東京むさし小平ファーマーズ・マーケット、小平商工会、中央公民館、平櫛田中彫刻美術館、津田図書館、中央図書館、ふれあい下水道館、リサイクルセンター) でも実施していただきました。

【実施日】

令和 2 (2020) 年 8 月 1 日 (土) 小平ふるさと村

8 月 15 日 (土) ふれあい下水道館 など



ふるさと村での様子



JA 東京むさし小平ファーマーズ・マーケットでの様子

(5) 市内環境美化週間

「きれいなまちはわたしたちの手で」を合い言葉に、自治会等の地域住民が年間を通してクリーン作戦として清掃活動を実施しています。

市では、環境美化活動として特に「ごみゼロデー」（5月30日以降の最初の日曜日を一斉清掃の日としている）、「環境美化週間」（ごみゼロデーの前後1週間）、「みんなでまちをきれいにする週間」（秋の美化週間：10月1日～7日）を重点的に推進しています。

この取組に合わせ、市職員も、第二次エコダイラ・オフィス計画に基づき、「廃棄物の発生抑制」及び「紙使用量の削減」の取組について強化し、ごみの減量を図るとともに、執務室の整理整頓を行いました。

【実施期間】

令和2（2020）年5月24日（日）～6月7日（日）及び10月1日（木）～10月7日（水）

(6) エコダイラ・オフィスニュースの発行

平成22（2010）年3月の「第二次エコダイラ・オフィス計画」の策定後、計画の目的に沿って、市職員一人ひとりが率先して環境に配慮した取組を実践するよう、意識向上を図るため、平成23（2011）年4月1日から市職員向けにエコダイラ・オフィスニュースを発行しています。

令和2（2020）年度は、「公共施設での再生可能エネルギー利用状況」、「緑のカーテン」、「夏季の節電対策の報告」、「（仮称）小平市第三次環境基本計画の策定経過」、「冬期自動車使用抑制キャンペーン活動報告」、「小平市第三次環境基本計画策定報告」について、ニュースを発行しました。



【発行回数】

令和2（2020）年度 5回（No. 31～35）

5 環境に配慮した自動車利用の促進

(1) 冬期自動車使用抑制キャンペーン

市における大気環境は、東京都のディーゼル車規制等により二酸化窒素や浮遊粒子状物質等について一定の改善傾向がみられますが、光化学オキシダントなど改善されていない物質もあります。特に冬場は二酸化窒素濃度が高まる時期であり、その主な原因は自動車からの排出ガスと考えられています。市では環境負荷低減の啓発と冬期における大気環境の改善を目的として、毎年11月から1月末日までの期間、「冬期自動車使用抑制キャンペーン」を実施しています。

(2) 週に一度は乗らないデー

市報、ホームページ、のぼり旗等で「週に一度は乗らないデー」や「エコドライブ」を呼びかけました。また、市内においても、水曜日の庁用車使用を原則禁止とし、冬期における大気環境の改善を目指しています。



東部出張所及び西部出張所に
「取り組もう！誰でもできる eco 運転」ののぼり旗を掲出（写真）

【週に一度は乗らないデーの庁用車使用状況（11月から翌1月の期間中）の推移】

年度	2016	2017	2018	2019	2020
使用回数	617	682	681	658	499

(3) エコドライブ実践の取組

エコドライブの周知及び技術向上のため、市職員を対象とした「エコドライブシミュレータ体験会」を行い、庁用車の燃費改善に取り組みました。

【令和2（2020）年度 エコドライブシミュレータ体験会（庁内）】

日時	12月22日（火）14時～16時 12月23日（水）10時～12時、14時～16時
場所	小平市役所
参加人数	16人



エコドライブシミュレータ

(4) その他の啓発活動

冬期自動車使用抑制キャンペーン中は、「エコドライブ10のすすめ」、「週に一度は乗らないデー」、「燃費改善事例」の各ポスターを庁内及び市内公共施設に掲示しました。



「エコドライブ10のすすめ」
小平市版ポスター



「週に一度は乗らないデー」ポスター



「燃費改善事例」ポスター